

2. ものづくりに学習情報を生かすサポートコーナー

過去、木材加工などの学習活動において、資料や情報は、印刷物やOHP、VTRなどの個々のメディアで一方的に提示されていた。また、旧来のスタンドアロンのパソコンでもデータベースなどを利用したが、DOS環境では文字情報や図が中心となり、教師があらかじめ準備できる情報量にも限りがあった。しかしパソコンの処理能力の向上およびネットワークの構築により、教師が教材を自作する際にもWebデータの形で容易に準備することができ、大容量の情報である鮮明な画像や動画ファイルを扱うことが可能となった。補強金具やプラスチック素材、過去の生徒作品のデータベースをHTML形式で作成し、木工室の一角で検索できるサポートコーナー(photo.1)を設置した。



pho.1 木工室のサポートコーナー